

在宅看護論

目標 I 在宅看護における対象と基盤となる概念、安全と健康危機管理について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1. 在宅看護の対象と基盤となる概念	A. 在宅看護の対象と背景	a. 国民の価値観	在宅看護論 1章-I-A 在宅ケアを必要とする背景 (P2~5)	
		b. 疾病がある者と家族	在宅看護論 3章-II 在宅看護における家族支援 (P110~126), 4章-I 在宅看護とエンド・オブ・ライフケア (P164~183) II 在宅看護と難病ケア (P183~197)	104-PM-89
		c. 障害がある者と家族	在宅看護論 3章-II 在宅看護における家族支援 (P110~126), 4章-IV 在宅看護と精神障害ケア (P207~218), V 在宅看護と重症心身障害児ケア (P218~232)	
		d. 疾病や障害がある者の社会参加	<別巻>リハビリ看護 2章-①-C リハビリテーション看護の対象 (P39~42), 6章-III-A-2 障害のある人の生活を守る法律 (P368), III-1 身体障害者福祉法 (P62~63)	
	B. 在宅療養を支援する仕組み	a. 在宅医療・介護に関する仕組み	在宅看護論 1章-I-C-2 わが国における在宅看護活動と提供機関 (P8~9), 2章-II 訪問看護の制度と機能 (P63~77)	108-PM-65, 115, 107-AM-62, 105-PM-63
		b. 地域包括ケアシステム	老年看護学① 5章-II-B-4 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割 (P192~193), 在宅看護論 2章-I-B-3 介護保険法の変遷 (P42~45), III 地域包括ケアシステム (P78~91), 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104), 4章-VII-C-3-4 チームアプローチ (P252)	106-PM-58
	C. 在宅看護における権利の保障	a. 在宅療養者の権利擁護<アドボカシー>(成年後見制度)	社会福祉 5章-V-C-1 老人福祉実施体制 (P189)	
		b. 虐待の防止	社会福祉 5章-V-B-2-2) 高齢者虐待の問題 (P188), 関係法規 5章-D 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律 (P121), 在宅看護論 3章-II 在宅看護における家族支援 (P110~126)	107-AM-60
		c. 個人情報の保護と管理	在宅看護論 3章-IV-E-7 情報漏洩 (P160)	
		d. サービス提供者の権利の保護	在宅看護論 1章-II 在宅での療養の選択 (P21~25)	
	D. 在宅療養者の自立・自律支援	a. 価値観の尊重と意思決定支援	在宅看護論 3章-III-A-2-2-3) 療養者と家族の自律性を促す看護 (P128), 4章-II-C-2 意思決定支援 (P191)	
		b. QOLの維持・向上	在宅看護論 1章-I-B 在宅看護の目的と位置づけ (P5~7)	
		c. セルフケア	現代医療論 2章-I-B-3-1 心身の全体的健康ーホリスティック・ヘルス (P35), 基礎看護学② 2編-1章-V セルフケア能力のアセスメント (P163~165)	107-PM-89, 105-PM-117
		d. 社会参加への援助	在宅看護論 4章-III 在宅看護とリハビリテーション (P197~206)	108-PM-67
	E. 在宅における病状・病態の経過の予測と予防	a. 病状・病態の経過の予測	在宅看護論 4章-I-B 在宅での看護過程展開の視点 (P114~120)	105-PM-115
		b. 予測に基づく予防	在宅看護論 4章-I-B 在宅での看護過程展開の視点 (P114~120)	108-AM-116
		c. 在宅での感染予防対策	在宅看護論 3章-IV-E-5 感染 (P158~159), 5章-II-E-2-7 感染予防、禁煙指導 (P347)	
	F. 生活の場に応じた看護の特徴と看護の役割	a. 外来看護	在宅看護論 3章-I-E 継続看護 (P105~106)	
b. 訪問看護		在宅看護論 1章-I-C-2-1 訪問看護 (P8), 2章-II 訪問看護の制度と機能 (P63~77)	105-AM-62	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴	
1. 在宅看護の対象と基盤となる概念	F. 生活の場に応じた看護の特徴と看護の役割	c. 入所施設での看護	在宅看護論 2章-I-B-4 介護保険制度の概要 (P45~51)		
		d. 通所施設での看護	老年看護学① 5章-II-D-2 通所サービス (P195~196), 在宅看護論 2章-I-B-4 介護保険制度の概要 (P45~51)		
	G. 在宅療養者の家族への看護 105-AM-115	a. 家族の介護力のアセスメントと調整	老年看護学① 5章-IV-C-2 高齢者を取り巻く家族介護者への支援 (P211~213), 在宅看護論 3章-II-C 家族のアセスメント (P115~122)		
		b. 家族関係の調整	老年看護学① 5章-IV-C-2 高齢者を取り巻く家族介護者への支援 (P211~213), 在宅看護論 3章-II 在宅看護における家族支援 (P110~126)		
		c. ケア方法の指導	在宅看護論 2章-I-C-5 教育的な支援技術 (P60~62), 5章-IV-3-2 家族介護者支援の留意点 (P182~183)	108-PM-116, 106-AM-69	
d. 介護者の健康	老年看護学① 5章-IV-C-1 主介護者の健康と生活 (P210~211), 在宅看護論 3章-II 在宅看護における家族支援 (P110~126)				
	e. レスパイトケア	在宅看護論 3章-II 在宅看護における家族支援 (P110~126)	105-PM-62		
2. 在宅看護における安全と健康危機管理	A. 日常生活における安全管理	a. 家屋環境の整備	在宅看護論 5章-II-D-4 住環境の調整 (P336、337)	108-PM-66	
		b. 転倒・転落の防止	老年看護学① 6章-I-D-2 転倒 (P220~221), 在宅看護論 5章-II-D-5 転倒予防 (P336、337)		
		c. 誤嚥・窒息の防止	老年看護学① 6章-I-D-3 窒息 (P221~222), 統合と実践①医療安全 2章-II-N-3 誤嚥・窒息 (P229)	107-PM-81	
		d. 熱傷・凍傷の防止	老年看護学① 6章-I-D-4 やけど(熱傷) (P222)		
		e. 熱中症の予防	老年看護学② 3章-III 脱水と看護 (P134~136), V 熱中症と看護 (P139~143)		
		f. 閉じこもりの予防	老年看護学① 3章-I-D-2-② 社会から孤立する高齢者 (P60~62), 老年看護学② 2章-X 社会参加を促す援助 (P118~121)		
		g. 独居高齢者の防災	老年看護学② 3章-VII-B-1 居室の条件 (P71~72)		
	B. 災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理	a. 在宅療養者・家族への防災対策の指導	関係法規 1章-IV 災害と医療 (P17~19)	108-PM-117	
		b. 医療機関との連携による医療上の健康危機管理	関係法規 1章-IV 災害と医療 (P17~19)		
		c. 福祉機関との連携による生活上の健康危機管理	関係法規 1章-IV 災害と医療 (P17~19)		
		d. 行政(市町村・消防署・警察等)との連携	関係法規 1章-IV 災害と医療 (P17~19)		
	3. 訪問看護の概要	A. 訪問看護制度の理解	a. 訪問看護の変遷	老年看護学① 5章-II-A 在宅看護における法律・制度の整備 (P188~189), 在宅看護論 1章-II 在宅看護の変遷 (P18~30)	
			b. 訪問看護の提供方法と種類	在宅看護論 1章-I-C 在宅看護の機能と提供機関 (P7~9)	
c. 訪問看護制度の課題			在宅看護論 1章-I-C 在宅看護の機能と提供機関 (P7~9)	105-AM-119	
B. 訪問看護制度の法的枠組み		a. 介護保険法	在宅看護論 2章-II-C 訪問看護ステーション (P66~69)		
		b. 健康保険法	在宅看護論 2章-II-C 訪問看護ステーション (P66~69)	107-PM-62	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3. 訪問看護の概要	B. 訪問看護制度の法的枠組み	c. 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)	公衆衛生学 2編-5章-A-2-③ 障害者総合支援法によるメニュー (P243~244), X-B 障害児・者施策 (P244~246), B-3 障害者総合支援法 (P263~265), 社会福祉 5章-IV-F 障害者総合支援法のサービス利用と内容 (P182~185), 関係法規 6章-II-B 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法) (P129~130), 精神看護学② 7章-II-A-3-2) 障害者自立支援法 (P401~406)	106-PM-59
		C. 訪問看護サービスの仕組みと提供	a. 訪問看護ステーションの開設基準	在宅看護論 2章-II-C 訪問看護ステーション (P66~69)
	b. 訪問看護サービス開始までの流れ		在宅看護論 2章-II-C 訪問看護ステーション (P66~69)	
	c. 訪問看護サービスの展開		在宅看護論 2章-II-C 訪問看護ステーション (P66~69)	
	d. 訪問看護サービスの質保証		在宅看護論 1章-II 在宅看護の特質 (P62~72)	104-AM-69, 73
	e. 訪問看護サービスの管理・運営		在宅看護論 7章-II 在宅ケアの現状 (P258~288)	105-AM-63, 105-PM-89

目標 II

在宅療養者の特徴を理解し、病期や状況に応じて展開する在宅看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4. 在宅療養生活を支える看護	A. 食事・栄養	a. 食事摂取能力(嚥下・消化・吸収能力)	在宅看護論 5章-II-A 食事・栄養の援助 (P291~303)	
		b. 食事内容の選択、食材の調達の方法に関する援助	在宅看護論 5章-II-A 食事・栄養の援助 (P291~303)	
		c. 栄養を補う食品の種類と選択方法に関する援助	栄養生化学 13章-II-2 経管栄養の注入液 (P299~300)	
		d. 食事摂取能力低下時の援助	老年看護学② 2章-VIII-5 食事の援助のためのアセスメント項目 (P102~107), 在宅看護論 5章-II-A 食事・栄養の援助 (P291~303)	104-AM-70
		e. 口腔ケア	在宅看護論 5章-II-C-3-4 口腔ケア (P323)	107-AM-61
	B. 排泄	a. 排泄の状況と障害	老年看護学② 1章-B-8 排泄・失禁のアセスメント (P31~33), 2章-IV-5 排泄の援助のためのアセスメント項目 (P69~75), 在宅看護論 5章-II-B 排泄の援助 (P303~317)	107-PM-64
		b. 排泄補助用具の種類と選択方法	老年看護学② 3章-IV-A-4-3 排尿用具の工夫 (P58~60), 在宅看護論 5章-II-B 排泄の援助 (P303~317)	107-PM-65
		c. 尿失禁の予防と援助	老年看護学② 2章-IV-6 排泄の援助の実際 (P75~79), 在宅看護論 5章-II-B 排泄の援助 (P303~317)	104-PM-116
		d. 便失禁の予防と援助	老年看護学② 2章-IV-6 排泄の援助の実際 (P75~79)	
		e. 便秘の予防と援助	在宅看護論 5章-II-B 排泄の援助 (P303~317)	105-PM-116, 104-PM-117
		f. ストーマケア	在宅看護論 5章-II-B 排泄の援助 (P303~317)	105-AM-79
	C. 清潔	a. 清潔の保持の状況	在宅看護論 5章-II-C 清潔の援助 (P317~326)	106-AM-68

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4. 在宅療養生活を支える看護	C. 清潔	b. 清潔の援助方法と自立支援	基礎看護学③ 4編-5章 清潔・衣生活の援助技術 (P137~175), 在宅看護論 5章-II-C 清潔の援助 (P317~326)	
	D. 移動	a. 日常生活動作<ADL>・手段的日常生活動作<IADL>のアセスメント	在宅看護論 5章-II-D 移乗・移動の援助 (P326~336)	
		b. 日常生活動作<ADL>・手段的日常生活動作<IADL>の維持および向上のための援助	在宅看護論 5章-II-D 移乗・移動の援助 (P326~336)	107-AM-63
		c. 移動時の安全確保	在宅看護論 5章-II-D 移乗・移動の援助 (P326~336)	
d. 移動補助用具の種類と選択方法		基礎看護学③ IV-D 歩行の援助 (P127~129), 在宅看護論 5章-II-D 移乗・移動の援助 (P326~336)		
5. 在宅療養者の病期に応じた看護	A. 日常生活動作<ADL>の低下および疾病の再発の予防が必要な療養者	a. 日常生活のアセスメントと環境整備	在宅看護論 3章-III-A-2 在宅特有の看護過程 (P126~129), 5章-II-D-4 住環境の調整 (P336, 337)	
		b. 在宅療養者と家族のセルフマネジメント力の維持・向上のための支援	在宅看護論 3章-III 家族へのアプローチ (P90~110), 5章 在宅看護における援助技術 (P284~379)	
		c. 異常の早期発見と対応	在宅看護論 5章-II 観察技術 (P153~159)	
		d. 社会資源の活用・調整	在宅看護論 3章-I-A 在宅ケアにおける社会資源 (P96~98)	
	B. 急性期にある療養者	a. 緊急性と重症度のアセスメント	在宅看護論 5章-II-E-1 呼吸のアセスメント (P336~344)	106-PM-57
		b. 状態に合わせた対応・調整	在宅看護論 5章-II-E-3-5) 低酸素血症・CO ₂ ナルコーシス (P350~351)	107-PM-63
		c. 急性症状への対応	在宅看護論 5章-II-E-3-3-6) 緊急時対応 (P351), 4-3-2) 緊急時対応 (P356)	
		d. 感染症(肺炎等)への対応	在宅看護論 5章-II-E-2-2-7) 感染予防, 禁煙指導 (P347)	
	C. 慢性期にある療養者	a. 慢性期の特徴を踏まえた状態のアセスメント(状態のアセスメントと状態に合わせた対応・調整)	老年看護学② 3章-II-B 認知症・認知障害のアセスメント (P28~29)	
		b. 状態に合わせた対応・調整	在宅看護論 4章-II 在宅看護と難病ケア (P183~197)	
		c. 急性増悪の早期発見と対応	成人⑨膠原病 2編-1章 看護の基本 (P339~361)	
		d. 社会資源の活用・調整	在宅看護論 3章-I-A 在宅ケアにおける社会資源 (P96~98)	104-AM-117
	D. 回復期(リハビリテーション期)にある療養者	a. 在宅におけるリハビリテーション	<別巻>リハビリ看護 6章-I 在宅リハビリテーションとは (P354~363)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
5. 在宅療養者の病期に応じた看護	D. 回復期(リハビリテーション期)にある療養者	b. 生活機能・日常生活動作(ADL)のアセスメント	〈別巻〉リハビリ看護 6章-II 在宅リハビリテーションにおける看護の継続性 (P363~367)	
		c. 状態に合わせた対応・調整	在宅看護論 4章-III-D リハビリテーション期にある療養者・家族への看護 (P201~205)	
		d. 合併症の予防と対応	在宅看護論 4章-III-D リハビリテーション期にある療養者・家族への支援 (P201~205)	
		e. 居住環境のアセスメントと対応・調整	在宅看護論 5章-II-D-4 住環境の調整 (P336, 337)	
	E. 終末期にある療養者	f. 社会資源の活用・調整	在宅看護論 3章-I-A 在宅ケアにおける社会資源 (P96~98)	
		a. 症状マネジメント	在宅看護論 4章-I-D-4) 緩和ケア期 (P175)	
6. 在宅療養において特徴的な疾病がある療養者への看護	A. 小児の在宅療養者への看護	b. 終末期緩和ケアの実際	在宅看護論 4章-I-E がん療養者・家族へのエンド・オブ・ライフケアの支援事例 (P177~179), 〈別巻〉生と死 4章-⑥-D 訪問診療・訪問看護による在宅緩和ケア (P126~127)	104-PM-71
		c. 看取りの援助	老年看護学② 5章-III 死の看取りへの援助 (P161~165), 在宅看護論 4章-1 在宅看護とエンド・オブ・ライフケア (P164~183)	105-AM-120
	B. 認知症の在宅療養者への看護	d. 家族へのグリーフケア	在宅看護論 4章-I-B-2 グリーフケア (P170~172), D-7 グリーフケア期 (P177)	104-AM-71
		A~Dの共通の小項目	在宅看護論 4章-5-C 重症心身障害児への看護 (P225~228), 5-D 重症心身障害児をもつ家族の理解と家族支援 (P229~230)	106-AM-67, 106-PM-109, 110, 111
C. 精神疾患がある在宅療養者への看護	a. 在宅療養継続のための療養者の健康危機管理	b. 療養者の自立支援とQOLの維持・向上(尊厳保持、成長、権利擁護(アドボカシー)を含む)のための在宅療養支援	在宅看護論 4章-IV-B 認知症の療養者・家族への看護 (P236~238)	
		c. 在宅療養継続のための家族支援	在宅看護論 4章-IV-C 精神障害者・家族への看護 (P211~214)	
7. 在宅における医療管理を必要とする人と看護	A. 薬物療法	b. 難病がある在宅療養者への看護	在宅看護論 4章-II-C 難病療養者・家族への看護 (P190~194)	106-PM-60
		a. 服薬状況の把握と管理	老年看護学① 4章-I-F 服薬管理 (P133~138), 老年看護学② 6章-III-B-2-1-3) 服薬の確認 (P185~186), 在宅看護論 5章-II-G (P368~376)	
		b. 医師および薬剤師との連携	在宅看護論 5章-II-G 服薬管理 (P368~376)	104-PM-69
	B. 化学療法、放射線療法	c. 糖尿病の管理	成人⑧栄養・代謝 2編-2章-III インスリン自己注射を要する患者への看護 (P406~413), IV インスリン以外の自己注射 (GLP-1受容体作動薬)を要する患者への看護 (P413~416)	
a. 外来通院中の在宅療養者に対する援助		老年看護学① 4章-II-F-1 がんと化学療法・放射線療法 (P153~154), 在宅看護論 5章-IV-M 持続皮下注射を必要とする場合 (P211~213), 〈別巻〉放射線診療 1章-③ 健康影響とその管理 (P6~24), 〈別巻〉治療法概説 1編6章 放射線療法 (P133~156)		
C. 酸素療法	a. 対象の特徴	b. 機器の種類と原理	在宅看護論 5章-II-E-3 在宅酸素療法と看護 (P349~351)	
		c. 合併症の予防	在宅看護論 5章-II-E-3 在宅酸素療法と看護 (P349~351)	
		d. 安全管理と援助	在宅看護論 5章-II-E-3 在宅酸素療法と看護 (P349~351)	
			在宅看護論 5章-II-E-3 在宅酸素療法と看護 (P349~351)	108-AM-115, 117, 104-PM-70

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
7. 在宅における医療管理を必要とする人と看護	D. 人工呼吸療法(非侵襲的換気療法)	a. 対象の特徴	在宅看護論 5章-II-E-4 在宅人工呼吸療法と看護 (P351~357)	
		b. 人工呼吸器の原理・構造	在宅看護論 5章-II-E-4 在宅人工呼吸療法と看護 (P351~357)	
		c. 気道浄化のケア	在宅看護論 5章-II-E-4 在宅人工呼吸療法と看護 (P351~357)	
		d. 合併症の予防	在宅看護論 5章-II-E-4 在宅人工呼吸療法と看護 (P351~357)	
		e. 在宅における安全管理と援助	在宅看護論 5章-II-E-4 在宅人工呼吸療法と看護 (P351~357)	104-AM-115
	E. 膀胱留置カテーテル法	a. 対象の特徴	在宅看護論 5章-II-B-3 導尿、膀胱留置カテーテルと看護 (P308~312)	
		b. 合併症の予防	在宅看護論 5章-II-B-3 導尿、膀胱留置カテーテルと看護 (P308~312)	
		c. 在宅における安全管理と援助	在宅看護論 5章-II-B-3 導尿、膀胱留置カテーテルと看護 (P308~312)	
	F. 胃瘻、経管・経腸栄養法	a. 対象の特徴	在宅看護論 5章-II-A-4 経管栄養法と看護 (P293~299)	
		b. 栄養剤の種類と特徴	在宅看護論 5章-II-A-4 経管栄養法と看護 (P293~299)	
		c. 栄養評価	在宅看護論 5章-II-A-4 経管栄養法と看護 (P293~299)	
		d. 合併症の予防	在宅看護論 5章-II-A-4 経管栄養法と看護 (P293~299)	
		e. 在宅における安全管理と援助	在宅看護論 5章-II-A-4 経管栄養法と看護 (P293~299)	
	G. 中心静脈栄養法	a. 対象の特徴	在宅看護論 5章-II-A-5 在宅中心静脈栄養と看護 (P300~303)	
		b. 栄養剤の注入方法	在宅看護論 5章-II-A-5 在宅中心静脈栄養と看護 (P300~303)	
		c. 栄養評価	在宅看護論 5章-II-A-5 在宅中心静脈栄養と看護 (P300~303), 老年看護学② 6章-III-B-2-4-2) 水分出納のバランスと循環への負担の軽減 (P190)	
		d. 合併症の予防	在宅看護論 5章-II-A-5 在宅中心静脈栄養と看護 (P300~303), 老年看護学② 6章-III-B-2-4-3) 合併症の予防 (P191~192)	
		e. 在宅における安全管理と援助	在宅看護論 5章-II-A-5 在宅中心静脈栄養と看護 (P300~303), 老年看護学② 6章-III-B-2-4-4) 日常生活行動の援助 (P192)	104-AM-72
	H. 褥瘡管理	a. 褥瘡発生のリスクアセスメントと予防	在宅看護論 5章-II-F (P357~368)	
		b. 褥瘡のアセスメントと処置	在宅看護論 5章-II-F (P357~368)	104-PM-115
c. 除圧・体位変換に関する器具の種類と選択		在宅看護論 5章-II-F (P357~368)		

目標Ⅲ

地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置付けと看護の役割について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
8. 療養の場の移行に伴う看護	A. 医療機関との入退院時の連携 105-AM-16	a. 地域連携クリニカルパス	老年看護学② 6章-V-C 外来における看護 (P207~211), 在宅看護論 3章-I-E 継続看護 (P105~106)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
8. 療養の場の移行に伴う看護	A. 医療機関との入退院時の連携 105-AM-16	b. 外来との連携	在宅看護論 2章-Ⅲ-C-4 事業内容 (P82~84), 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104), E 継続看護 (P105~106)	106-AM-68
		c. 病棟との連携	在宅看護論 2章-Ⅲ-C-4 事業内容 (P82~84), 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104), E 継続看護 (P105~106)	
		d. 退院支援部門との連携	老年看護学① 5章-I-B-2 患者・家族の自己決定を促進するための連携・協働 (P186~187), 老年看護学② 6章-V-A 高齢者と退院 (P205~206), V-B 退院する患者に対する看護の要点 (P206~207)	
		e. 診療所との連携	在宅看護論 2章-Ⅲ-C-4 事業内容 (P82~84), 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104), E 継続看護 (P105~106)	
	B. 施設との入退所時の連携 105-AM-16	a. 介護保険施設等の公的施設との連携	老年看護学① 5章-I-B-5 高齢者の退院支援の特徴と留意点 (P187~188), 老年看護学② 6章-V-B 退院する患者に対する看護の要点 (P206~207), 在宅看護論 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104), E 継続看護 (P105~106)	
		b. サービス付き高齢者向け住宅等の民間施設との連携	老年看護学① 5章-I-B-5 高齢者の退院支援の特徴と留意点 (P187~188), 老年看護学② 6章-V-A 高齢者と退院 (P205~206), V-B 退院する患者に対する看護の要点 (P206~207), 在宅看護論 2章-Ⅲ-C-4 事業内容 (P82~84), 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104), E 継続看護 (P105~106)	
9. 地域包括ケアシステムにおける多職種連携	A. 行政との連携	A~Dの共通の小項目 a. 機関・職種の役割	社会福祉 3章-VI-F 地域支援事業等 (P83~84), 在宅看護論 1章-I-B-2-1 在宅ケアと在宅看護 (P6), 2章-Ⅲ-B 地域包括ケアシステムの機能と構成 (P78~80)	108-PM-68
	B. 地域包括支援センターとの連携	b. 双方向で行う連携の目的と看護の役割	社会福祉 3章-VI-F-2 地域包括支援センター (P84)	
	C. 居宅介護支援事業所との連携		在宅看護論 2章-I-B-4-1 介護保険サービス利用までの流れ (P45), Ⅲ-E 地域包括支援ケアシステムの実践 (P89~91)	
	D. 介護サービス事業所との連携		在宅看護論 2章-Ⅲ-E 地域包括支援ケアシステムの実践 (P89~91)	
	E. 住民との連携	a. ボランティア等の必要性と連携	公衆衛生学 2編-4章-F 地域包括ケアシステム (P237~238)	
10. 在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント	A. 看護が担うケースマネジメント/ケアマネジメントの概念 105-AM-118 ▲	a. サービスの統合、ケアの継続性	在宅看護論 3章-I-B ケアマネジメントの変遷 (P98~100)	
		b. 残存機能の維持・向上	在宅看護論 3章-I-B ケアマネジメントの変遷 (P98~100)	
		c. 多様化したニーズへの対応	在宅看護論 3章-I-B ケアマネジメントの変遷 (P98~100)	
		d. 意思決定支援	在宅看護論 3章-I-B ケアマネジメントの変遷 (P98~100)	
	B. ケースマネジメント/ケアマネジメントの過程 105-AM-118 ▲	a. ニーズのアセスメント	在宅看護論 2章-Ⅲ-C-4 事業内容 (P82~84), 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104)	106-AM-66
		b. ニーズに合わせたサービスの選択・計画	在宅看護論 2章-Ⅲ-C-4 事業内容 (P82~84), 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104)	
		c. サービスを結びつける調整	在宅看護論 2章-Ⅲ-C-4 事業内容 (P82~84), 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104)	
		d. 実施、モニタリング、評価、フィードバック	在宅看護論 2章-Ⅲ-C-4 事業内容 (P82~84), 3章-I-D チームケアと多職種連携 (P103~104)	
	C. 社会資源の理解と活用	a. フォーマルサービスとインフォーマルサービス	在宅看護論 3章-I-A 在宅ケアにおける社会資源 (P96~98)	108-PM-119, 105-PM-90